

《病院理念》信頼される全人的医療

《基本方針》

- 患者さんが中心の安心安全な医療を提供します
- 患者さんと医療従事者のコミュニケーションを大切にします
- 個人情報保護に努めます
- 専門性と総合性をもつ診療を行います
- 地域に開かれた病院として貢献します
- 全人的医療が行える医療人を育てます
- 地域の特性を活かした研究を推進します

## 府民公開講座を開催しました

今年第1回目の府民公開講座(北部医療センター、京都府丹後保健所共催、京丹後市後援)を、7月13日(日)、アグリセンター大宮で開催しました。

京都府立医科大学 吉川学長の「健康長寿の秘訣」をテーマとした基調講演は、健やかに長生きするため、生活習慣病の予防に有効な植物の抗酸化力、見た目のアンチエイジングなど、ユーモアを交えたわかりやすい講演でした。

中川病院長のコーディネートによるパネルディスカッションでは、吉川学長、北丹医師会 齊藤治人会長、京都府立医科大学 成木迅講師から、活き生き健康長寿に向けた幅広い意見交換が行われ、会場一杯の皆さんも熱心に耳を傾けられました。



▲基調講演  
「健康長寿の秘訣」  
講師：吉川学長



▲パネルディスカッション  
「活き生き健康長寿を目指して」

### 第2回(眼・耳の病気と皮膚疾患)

《日時》9月15日(月・祝) 14:00~16:00

《場所》野田川わーくばる(定員250名)

- 《講演》①「加齢と眼の病気」 眼科医長 畑中 宏樹  
②「耳よりな話  
～きこえのしくみと耳の病気～」  
耳鼻咽喉科医長 信原 健二  
③「家庭における皮膚トラブル  
～皮膚は自分でケアできる～」  
皮膚科医長 小森 敏史

### 第4回(安心・快適な出産と新生児の医療)

《日時》11月16日(日) 14:00~16:00

《場所》峰山総合福祉センター(定員250名)

- 《講演》①「安心安全で快適な出産」  
副病院長 野口 敏史  
②「新生児医療」 小児科医長 小坂喜太郎

### 第3回(リハビリテーションと老化予防)

《日時》10月26日(日) 14:00~16:00

《場所》みやづ歴史の館(定員250名)

- 《講演》①「高血圧 ～血管の老化を予防する～」  
循環器内科医長 高田 博輝  
②「ロコモーショントレーニング  
(ロコトレ)で防ぐ骨粗鬆症」  
整形外科医長 吉田 隆司  
(リハビリテーション科)

### お申込み・お問合せ先

氏名、住所、電話番号、参加希望日を、FAX、ハガキ、電子メール、電話で下記までお申し込みください。

〒629-2261 京都府与謝郡与謝野町字男山481

京都府立医科大学附属北部医療センター  
教育研究推進室

TEL&FAX 0772-46-3371

E-mail idai-hic-kyoken@mail.pref.kyoto.jp

### 【第5号の内容】

- 1 ページ ● 府民公開講座
- 2 ページ ● 北部地域医療人材育成センター 第1回合同研修会開催
- 集団栄養指導 ● セタコンサート
- 3 ページ ● ナースのお仕事 2...松本初美看護師長 ● 一〇レシピ
- 4 ページ ● 診察室「皮膚科」...小森敏史医長 ● 診療科紹介「泌尿器科」...間山大輔医長
- 5 ページ ● 地域医療連携室「かけはし」
- 6 ページ ● 外来各科診察担当医表 ● 医師異動情報



〒629-2261  
京都府与謝郡与謝野町字男山481  
電話/FAX 0772-46-3371 (代表)  
http://nmc.kpu-m.ac.jp/

## 北部地域医療人材育成センター 第1回合同研修会を開催！

6月6日(金)、当センターで、京都府立医科大学 全人的医療人材育成・研究センター（センター長 吉川敏一 学長）主催の第1回合同研修会を開催しました。

今年3月に締結した北部公的10病院による医療機器共同利用協定に基づく第1回目の研修会で、府北部地域の若手医師等の医療スタッフが、最新の医療機器について学び、スキルアップを図るものです。

今回は、最新の運動負荷モニタリングシステムを活用し、急性心筋梗塞を含めた心疾患重症度に応じた安全な運動療法の実際を学びました。



府北部の公的病院からは、若手医師をはじめ、看護師、理学療法士、作業療法士、臨床検査技師など幅広い職種の医療スタッフが参加。



前半は、当センター循環器内科 谷口琢也 副医長による「当院における外来心臓リハビリテーションの実際」と題した講義。

後半は、同じく

循環器内科 高田博輝 医長により、受講者が、運動負荷モニタリングシステムを体感する実習を行いました。どちらもわかりやすいと好評で、研修終了後も、あちこちで熱心な意見交換が続くなど、有意義な研修会となりました。

今後、舞鶴医療センター（脳波測定器）、福知山市民病院（超音波診断装置）、綾部市立病院（眼科手術用顕微鏡）で順次開催予定。

## ■平成26年度の集団栄養指導（8月以降の予定）

### 〈ミニレクチャー実施内容〉

※場所：エントランスホール薬局窓口前

※時間：午前11時30分～12時

実施日	テーマ	講師
8月1日(金)	「高血圧について」	田中 一哉 医師(研修医)
9月9日(火)	「老化と嚥下障害」	摂食嚥下障害看護認定看護師 糸井 弘美 看護師長
10月21日(火)	「トクホ(特定保健用食品)について」	田中 裕子 管理栄養士
11月10日(月)	「インフルエンザについて」	北村 一将 医師(研修医)
12月5日(金)	「喫煙について」	松村 うつき 医師(研修医)
2月6日(金)	「糖尿病について」	橋本 光 医師(研修医)

## 七夕コンサート 開催



患者さんの癒しの一助となることを願って、7月16日(水)に、コンサートを開催しました。丹後地域で活動されるオカリナのサークル「ハニーローズ」と当センター職員や看護学校学生で構成する「くれっしゅんど与謝」により、「見上げてごらん夜の星を」や「川の流れるように」、「ふるさと」など全7曲が演奏されました。

患者さんやそのご家族など約100名の方々が、曲に合わせて歌ったり、手拍子を打ったりしながら、一緒にコンサートを楽しみました。

## ナースのお仕事 2

— 松本 初美 看護師長 —



今回はC4病棟看護師長をしている松本師長をご紹介します。  
〔まつもと はつみ：昭和60年から当院勤務、C4師長は平成26年4月から〕

### 質問1：看護師になろうと思ったきっかけ

**松本：**高校時代、将来どんな職業が自分に向いているのか悩んでいました。両親から看護師になることを勧められ、やりがいのある職業であり体力にも自信があったので、それから看護師を目指そうと決心しました。

### 質問2：看護師になって印象に残っていること

**松本：**看護師になって初めての勤務が手術室でした。手術室では先生への器械渡しがうまくいかず、針に糸を付ける操作を一生懸命練習しました。

救急室の初めての深夜勤務では、とても心細く、早く朝が来ないかと時計を見ていました。その時来院された救急患者さんは軽傷で、ほっとしたことを思い出します。

退院支援を行った患者さんに、退院後、自宅訪問する機会があり、生き生きと過ごされている姿を拝見しました。「家族と一緒に自宅で過ごせてよかった。」という言葉聞いた時、患者さんの、自宅に帰りたいたいという思いが実現できてよかったと思いました。

### 質問3：ナースのお仕事

**松本：**現在勤務している病棟は、消化器内科、皮膚科の患者さんを受け入れています。主に内視鏡による検査・治療のための入院が多く、安心して入院生活を送れるよう患者さんの言葉に耳を傾けながら看護を行っています。また、業務委員会の委員として、業務の改善やマニュアルの活用に向けての取り組みを行っています。

### 質問4：一番感じること

**松本：**本院の病床数は295床でそのうち個室はICUを除き46床、特別室は1床です。最近個室を希望される患者さんが続き、希望に添えない状況が多くありました。できるだけ過ごしやすい環境を考え、入院生活を送っていただけるように工夫しています。そして、患者さんの気持ちに寄り添った看護ができるようスタッフ一同笑顔で頑張っています。



## 一口レシピ 「杏仁豆腐」

☆今回は当病院栄養管理課の杏仁豆腐を紹介します。

### 【材料】

- 牛乳、水各200cc • 砂糖45g
- 杏仁霜5g • 粉寒天4g • フルーツ（缶詰）など

### 【作り方】

1. 鍋に杏仁霜を入れ、水を少しずつ加えよく溶かす。
2. 1に砂糖、粉寒天を入れ、中火でとろみがつくまで混ぜる。
3. とろみがついたら牛乳を加え、沸騰するまで混ぜ続け、火を止める。
4. 粗熱がとれたら型に流し、冷蔵庫で冷やし固める。
5. お好みの形に切り、季節のフルーツなどを合わせて盛りつける。

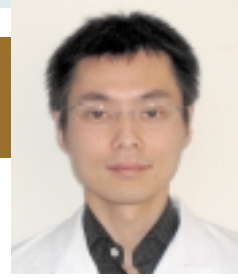




診察室

「皮膚疾患の予防について」

皮膚科 医長 小森 敏 史



皮膚科には毎日多くの患者さんが来られます。その中には自宅でのケアによって予防できるものもあります。例えば、冬季から春先に認める皮膚の乾燥に伴う湿疹がそうです。

はじめになぜ痒くなるのかという原因ですが、これには年齢に伴う皮膚表面の皮脂などの減少が関わってきます。年齢とともに皮脂は少しずつ減少し、皮膚が過敏となりある時を境に掻痒を認めます。この掻痒を認めた状態は湿疹といってすでに炎症を起こしている状態です。この状態になると、一般的な保湿剤では改善が乏しく、病院で処方されるステロイドなどの外用が必要となります。

では、痒みを生じないようにするにはどうしたらよいのでしょうか。自宅でもできるいくつかの予防法があります。

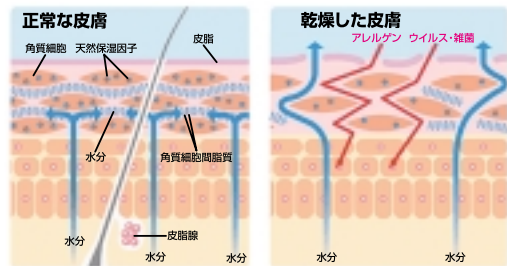
- ①長い時間、入浴しない。
- ②あまり汗をかかない冬季は体を洗い過ぎない。
- ③入浴後にはしっかりと保湿剤を使用する。

①に関しては、長時間の入浴は皮脂の減少を招きます。入浴は15分以内を心がけましょう。

②に関しては、高齢者の方はあまり汗をかかない冬季に毎日体を洗うことで逆に皮膚の乾燥を悪化させます。陰部や脇、顔など以外は週1、2回石鹸を使用していただくだけでも問題はありません。

③入浴に伴う体温の上昇で、入浴後は湯気として水分が体から抜けてしまいます。このため、皮膚からの水分の蒸散を少なくし、皮脂も補うために入浴後は出来るだけ保湿剤を乾燥している部位全体に塗るようにしましょう。

今回は乾燥に伴う湿疹についてお話しましたが、これ以外にも自宅でもできる皮膚の予防法は幾つもありますので、皮膚のトラブルでお困りの際は皮膚科を受診していただければ症状に合わせた予防法などもご説明させていただきます。



診療科紹介

一泌尿器科一

泌尿器科 医長 問山 大 輔



泌尿器科で扱っている病気は、尿路(尿の通り道のこと)・男性性器・副腎(ホルモンに関係する臓器)に出来る病気です。膀胱炎や排尿障害を想像することが多いとは思いますが、実際は尿路結石・尿路悪性腫瘍(癌)・前立腺疾患(前立腺肥大症や前立腺癌)が診療内容の半分以上を占め、それらに対して手術療法を行っています。

泌尿器科での中心となる手術方法は内視鏡手術です。手術は脊椎麻酔(いわゆる下半身麻酔)や全身麻酔をした状態で行いますが、経尿道的に内視鏡を用いて手術を行う方法や、お腹の中に直接カメラを挿入して手術操作を行う腹腔鏡下手術など、体への負担を少なくする低侵襲治療を中心に行っています。

そのうちのいくつかをご紹介しますと思います。

尿路結石に対しての手術療法は近年、飛躍的に進歩しています。20年くらい前まではお腹を切って結石を取り除く開腹手術が半数近くありましたが、最近では、ほぼ全例において開腹手術を用いない方法で完治出来るようになってきました。当科では京都府北部の尿路結石治療を担う中核病院として、レーザー砕石機・軟性腎盂尿管ファイバー(2種類)・体外衝撃波結石破碎装置をそろえています。2013年

は年間51例の経尿道的腎尿管結石除去術・7例の経尿道的膀胱結石砕石術・18例の体外衝撃波結石破碎術を行っており、年間76例の尿路結石患者さんの治療を行いました。また、患者さんの年齢層も現役世代の方から、80歳代の高齢者、長期臥床の患者さんなど様々です。

腹腔鏡下手術も当科では積極的に取り入れています。今までの開腹手術と比べて創部の小ささや、拡大鏡での十分な視野による安全性の高い手術を行っています。当院での腹腔鏡下手術を行う疾患は副腎、腎尿管、小児泌尿器などに発生する疾患です。2013年は12例の腹腔鏡下手術を行いました。特に早期腎臓癌に対しての無阻血腎部分切除術や膀胱尿管逆流症に対しての腹腔鏡下膀胱内手術なども行いました。

治療方針については患者さんとの十分な話し合いを行ってから決めますので、必ず手術をしないと決まらなければなりません。

泌尿器科外来への受診は少し気後れしがちな部分もあると思いますが、血尿・排尿障害など気になる点がありましたら受診をしてみてください。

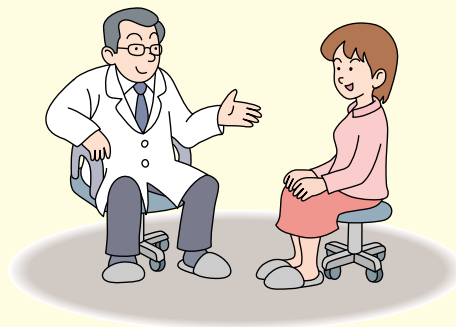


# 地域医療連携室「かけはし」

## 「かかりつけ医」を持ちましょう

### 「かかりつけ医」とは

少し体調が悪い時の診察や、普段の健康管理をしていただける地元の診療所やお医者さんのことです。かかりつけ医さんには、専門的な検査・治療が必要な場合に、当院への紹介をお願いしています。



### 初診の方は紹介状をお持ちください

かかりつけ医さんからの紹介状があると、あらかじめ病状を適切に評価されているため、治療を円滑に行うことができます。費用的にも、紹介状がない場合には、診療費とは別に2,100円をいただくことになっています。

また、かかりつけ医さんを通して検査・診察の事前予約をしていただくこともできます。

### 当院からかかりつけ医へ紹介

当院での検査が終わって治療方針が決定したり、一定の治療が終わり病状が安定した患者さんは、ご事情をお伺いした上で、かかりつけ医さんにご紹介します。

かかりつけ医さんと当院の間では、検査結果や治療内容の情報を共有します。

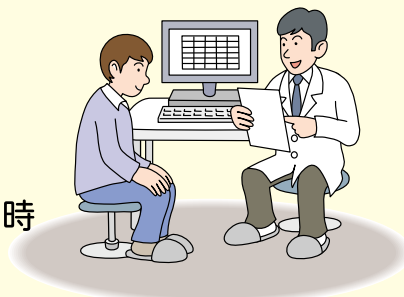
## セカンドオピニオン外来

セカンドオピニオンとは、患者さんがより納得して治療にのぞむことができるように、現在診療を受けている医師とは別に、違う医療機関の医師に「第2の意見」を求めることです。

当院では、現在かかっておられる医師の了承がある方について、予約制でお受けしています。検査や治療は行いません。自由診療となりますので、健康保険はお使いいただけません。

ご相談・お申込の際には、まず、地域医療連携室までご連絡ください。

- 受付時間：月～金（祝日除く） 午前8時30分～午後5時
- 電話番号：0772-46-6665（直通）



## 職員募集中！ 看護師・薬剤師・作業療法士

当センターでは現在、正規職員（看護師）、期限付職員（看護師、作業療法士）、非常勤嘱託職員（薬剤師）、臨時職員（看護師）を募集しています。

条件等についてはお気軽にお問い合わせください。

【問合せ先】京都府立医科大学附属北部医療センター 庶務課

☎0772-46-3371（代表）



# 外来各科診察担当医表

(平成26年8月1日)

診察室	診療科	月	火	水	木	金
11	総合診療科	横井大祐 助教(副医長)	(第1, 3, 5) 横井大祐 助教(副医長) (第2, 4) 高田博輝 助教(医長)	(第1, 3, 5) 時田和彦 准教授(副病院長) (第2) 石野秀岳 講師(医長) (第4) 担当医	時田和彦 准教授(副病院長)	石野秀岳 講師(医長)
12	呼吸器内科	大月亮三 助教(医長)	大月亮三 助教(医長)	大月亮三 助教(医長)		大月亮三 助教(医長)
13	消化器内科	玄 泰行 助教(医長)	福井勇人 助教(医長)	西村 健 助教(副医長)	福居顕文 助教(副医長)	稲田 裕 助教(副医長)
14	循環器内科	谷口琢也 助教(副医長)	宮川浩太郎 助教(副医長)	高田博輝 助教(医長)	福居顕介 助教(副医長)	入江大介 助教(副医長)
15	神経内科	山口達之 助教(医長)		(第1, 3 午後) 中川正法 教授(病院長) (もの忘れ外来) (予約)	山口達之 助教(医長)	中川正法 教授(病院長)
26	精神科	西澤 晋 助教(副医長)	上村 宏 准教授(医長)	上村 宏 准教授(医長)	上村 宏 准教授(医長)	西澤 晋 助教(副医長)
23	小児科	小坂喜太郎 准教授(医長)	吉田秀樹 助教(副医長)	(第1, 3, 5) 小坂喜太郎 准教授(医長) (第2, 4) 小川 弘 講師(医長)	1診 諸戸雅治 助教(副医長) 2診(第1, 3, 5午前) (予約) 柴原康通 講師	小川 弘 講師(医長)
18	外科	1診 中村憲司 講師(乳腺・新患) (医長)	石本武史 助教(副医長)	當麻敦史 講師(医長)	中村憲司 講師(医長)	落合登志哉 准教授(副病院長)
		2診 渡邊信之 助教(副医長)	満田雅人 助教(医長)	本宮久之 助教(医長)		(第1) 増田慎介 医師 (第2, 4) 常盤和明 特任教授
22	整形外科	(第1午前) 吉岡直樹 助教(副医長) (第2, 5 午前) 吉田隆司 講師(医長) (第3午前) 城戸優充 助教(副医長) (第4午前) 水野健太郎 助教(副医長) (午後・予約) 岡田直也 医師	吉岡直樹 助教(副医長)	城戸優充 助教(副医長)	吉田隆司 講師(医長)	水野健太郎 助教(副医長)
		2診 (午前) 岡田直也 医師			(午前) 岡田直也 医師	
17	脳神経外科		山中龍也 教授(隔週) 特任教授(隔週) 関本達之 教授(隔週)	山中龍也 教授(隔週) 特任教授(隔週) 関本達之 教授(隔週)	谷山市太 医師	井上靖夫 医師
19	眼科	1診 奥島健太郎 助教(副医長)	糸井素啓 助教(医長)	畑中宏樹 助教(医長)	畑中宏樹 助教(医長)	奥島健太郎 助教(副医長)
		2診 大槻陽平 助教(医長)		大槻陽平 助教(医長)	糸井素啓 助教(医長)	
20	産婦人科	辻 哲朗 助教(医長)	沖村浩之 助教(医長)	片岡 恒 助教(副医長)	(第1, 3, 5) 片岡 恒 助教(副医長) (第2, 4) 沖村浩之 助教(医長)	野口敏史 准教授(副病院長)
24	泌尿器科	井上裕太 助教(医長)	問山大輔 助教(医長)	問山大輔 助教(医長)	井上裕太 助教(医長)	問山大輔 助教(医長)
25	耳鼻咽喉科	1診 信原健二 助教(医長)	信原健二 助教(医長)	二之湯 弦 医師	信原健二 助教(医長)	齋藤敦志 助教(副医長)
		2診	齋藤敦志 助教(副医長)		齋藤敦志 助教(副医長)	
21	ペインクリニック		(第1, 3) 伊吹京秀 講師			
16	皮膚科	小森敏史 助教(医長)	小森敏史 助教(医長)	小森敏史 助教(医長)		小森敏史 助教(医長)

●受付時間 ●再診(予約のある方)午前8時から受付開始 ●初診・再診(予約のない方)午前8時30分～11時

●閉診日 土・日曜日、祝日及び年末年始(12月29日から1月3日) 【急患は、時間外でも診察】

## 医師異動情報

転出・転入日	転出者			転入者		
	診療科名	職名	氏名	診療科名	職名	氏名
平成26年5月31日	整形外科	助教(副医長)	もり さき しん すけ 崎 真 介			
平成26年7月1日	眼科	助教(医長)	こ じま けんたろう 嶋 健太郎	眼科	助教(医長)	はた なか ひろ き 畑 中 宏 樹
平成26年8月1日	泌尿器科	助教(医師)	ほっ た しゅん すけ 堀 田 俊 介	泌尿器科	助教(医師)	いの うえ ゆう た 井 上 裕 太
	麻酔科	助教(医師)	(増員)	麻酔科	助教(医師)	たけ した しゅう すけ 竹 下 秀 祐

【発行】京都府立医科大学附属北部医療センター(与謝の海病院) 【問合せ先】庶務課  
TEL/FAX 0772-46-3371(代表) ホームページ <http://nmc.kpu-m.ac.jp/>  
ホームページから“お見舞メール✉”サービスがご利用いただけます。